

目標の柱	1	恵まれた自然環境と調和した生活空間の創造		課	係
基本目標(政策)	1-1	自然環境の保全と次世代への継承を図ります		環境水道課	環境衛生係
基本計画(施策)	1-1-2	・環境衛生対策の充実			
				関係課・係	

【施策の目的と取組・現状分析】

<p>1 施策の目的(対象・意図)は何ですか？ ※対象(誰が、何が)、意図(どのようになることを目指すのか)を対象ごとに記載してください。</p>	<p>①町は家庭ごみの発生抑制の啓蒙啓発を行い、町民は家庭ごみの減量化を図る。 ②町はリサイクル率を向上するため啓蒙啓発を行い、町民は正しい分別を行う。 ③町は不法投棄対策を強化する。④町は河川水質等について恒久的に監視を行う。 ⑤町は清掃活動を計画し、町民等は清掃活動に参加する。</p>					
<p>2 「目指すべき状態」になるための成果目標は何ですか？</p>	<p>▼「目指すべき状態」を実現するために目標とする成果は何ですか？箇条書きで記載してください。</p> <p>①一人あたりのごみの発生抑制 ②ごみリサイクル率の向上 ③不法投棄の抑制と監視対策 ④河川水質や大気・土壌等の汚染防止監視 ⑤衛生的で清潔な町</p>					
<p>3 成果指標の状況(☆は追加した指標、※は変更した指標)</p>	単位	平成29年度	平成30年度		令和元年度	令和2年度
		実績値	目標値	実績値	目標値	目標値
A	一人一日あたりのごみの排出量	g	1,124	1,100	1,164	1,100
B	ごみのリサイクル率	%	12.0	13.0	13.5	14.0
C						
D						
<p>4 成果指標の実績値は目標値に対してどうでしたか？</p>	▼その理由として考えられること		見込み	▼その根拠と目標値設定(変更)の考え方		
A	③ ほぼ目標値どおり	環境衛生推進委員の指導及び啓発活動による。	③ 取組改善で達成可能	町の廃棄物実態調査の数値をもとに具体的な啓発を行う。		
B	③ ほぼ目標値どおり	住民のリサイクルに対する意識は向上しているが、高齢者の分別、持ち込みが困難な世帯が増加している。	③ 取組改善で達成可能	町の廃棄物実態調査の数値をもとに具体的な啓発を行うとともに、高齢者の分別困難な世帯への分別指導を実施する。		
C						
D						
<p>6 「目指すべき状態」に対し、これまでどのような取組を行いましたか？</p>	<p>▼「目指すべき状態」の実現に向けて、取り組んだことは何ですか？箇条書きで記載してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ごみ分別辞典の改訂を行い町内住民への全戸配布 ・有害鳥獣捕獲隊による不法投棄パトロールの実施 ・河川等水質検査の実施 ・町内一斉清掃、クリーンアップ作戦の実施 					
<p>7 施策の「対象」の現状はどのように変化しましたか？</p>	<p>▼ 現状把握に努めましたか。把握した現状とその変化、町民や議会の声などを記入してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・不法投棄パトロールを実施しているが、不法投棄は後を絶たない。 ・例年、ごみ収集業者から住民の分別に関して要望事項があげられている。 ・毎年地域住民が一体となり、清掃活動に参加している。 					

【施策の振り返り】

<p>8 2の成果目標の視点から、成果が上がったことは何ですか？</p>	<p>▼ 成果があったと思われる点を、2の目標とする成果の視点から原因を踏まえて記入してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・住民のごみの出し方や分別意識の向上 ・有害鳥獣捕獲隊や地区での取り組みによるパトロールの実施で山林内等の不法投棄の発見及び撤去 ・安全な水質の確保 ・清潔な町(地域)でありたいという意識の向上
<p>9 2の成果目標の視点から、問題点は何か？</p>	<p>▼ 問題があると思われる点を、2の目標とする成果の視点から原因を踏まえて記入してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ごみの分別では、特にアパートや県公舎等の住民の異動が多い箇所では分別がされていない実態がある。 ・他の地区へ、ごみを通りすぎりに持ち込む事例も数件確認された。 ・不法投棄は、森林面積が広大であり、林道等も多いため、目の届かない箇所が多数存在する。 ・清掃活動が、高齢化の影響により困難な地域が近い将来出てくる。

【結論として・・・(施策の振り返りも踏まえて)】

<p>10 2の成果目標の視点から施策全体の今後の方向性は？</p>	<p>ごみ減量化については、分別リサイクルと並行して行う必要があるが、現在の分別品目数が開始された当時から比べると、住民の分別意識は向上している。今後は特に高齢化が進む中での分別指導が必要になる。不法投棄に関しては、県と協力しながら抑制につながるような施策を検討していきたい。町民が持続して清掃活動に参加できる取り組みを検討していく必要がある。</p>	
<p>11 上記を踏まえ、施策の目的を実現させるためには、どのような「解決すべき問題への方策」・「達成できた事項をさらに伸ばす方策」がありますか？また具体的な対応・対策をどうしますか？</p>	施策における「解決すべき問題への方策」または「達成できた事項をさらに伸ばす方策」	具体的な対応・対策
	ごみリサイクル率の向上対策を検討することで、ごみ減量化につなげる。	集落応援交付金の一般事業メニューにごみ分別啓発事項を設け、地域の環境衛生推進委員に啓発活動を行ってもらおう。
	有害鳥獣捕獲隊だけでは監視範囲に限りがある。	すでに一部地区で実施している県補助事業「地域ぐるみ監視体制づくり支援事業」の活用により監視範囲を広げていく。
	高齢化により清掃活動が縮小していくと思われる。	出来る範囲での清掃活動計画を行い、持続した活動へつなげていく。

12 施策を構成する事務事業

番号	事務事業名 (令和元年度新規事業に★)	所管課 担当係	事業の目的、概要、成果、問題、問題に対する対策を簡潔に記載してください。(2行以内)					
			事業費(千円)					
			30年度決算額	うち一般財源	元年度予算額	うち一般財源	2年度見込み額	うち一般財源
01	衛生組合負担金	環境水道課	目的	運営費を負担することで廃棄物行政の充実を図る。				
			概要	南会津町、下郷町、只見町のごみ・し尿処理及び火葬業務を効率的に行うため、南会津環境衛生組合に対し運営費負担金を支出する。				
			成果	環境に配慮した適正な処理が行われている。				
		環境衛生係	問題	施設老朽化に伴う修繕費の増加				
			対策	ごみの減量化により焼却費の負担を軽減させる。				
			事業費	588,056	588,056	567,800	567,800	567,800
02	狂犬病予防事業	環境水道課	目的	畜犬登録と狂犬病の予防を図る。				
			概要	町内で飼育されている蓄犬の登録と狂犬病予防注射の集団接種の実施				
			成果	畜犬登録をすることにより、狂犬病予防注射の実施及び狂犬病の発症予防に繋がる。				
		環境衛生係	問題	畜犬の異動(死亡等)が漏れる場合がある。予防注射未接種犬への接種指導				
			対策	広報等を利用した町民への周知と予防注射未接種犬飼い主への個別指導				
			事業費	38	0	36	0	36
03	河川等水質測定事業	環境水道課	目的	水質測定を実施することにより、汚染を監視する。				
			概要	町内主要河川・旧鉢山関連河川・ゴルフ場関連河川・湧水の水質検査を実施				
			成果	現在のところ水質に異常は見られない。				
		環境衛生係	問題	特になし				
			対策	特になし				
			事業費	1,780	1,780	2,025	2,025	2,025
04	清掃事務事業	環境水道課	目的	自然に恵まれた町を、衛生的で清潔な町にする。				
			概要	一斉清掃、クリーンアップ作戦等町民が参加する清掃活動を実施				
			成果	地域住民が積極的に清掃を行い、きれいな町が保たれている。				
		環境衛生係	問題	高齢化により活動が縮小していくと思われる。				
			対策	出来る範囲での清掃活動計画を検討し、持続した取組を行っていく。				
			事業費	319	319	351	351	351
05			目的					
			概要					
			成果					
			問題					
			対策					
			事業費					
06			目的					
			概要					
			成果					
			問題					
			対策					
			事業費					
07			目的					
			概要					
			成果					
			問題					
			対策					
			事業費					
08			目的					
			概要					
			成果					
			問題					
			対策					
			事業費					
事業費(一般財源)の合計(千円)			590,193	590,155	570,212	570,176	570,212	570,176